

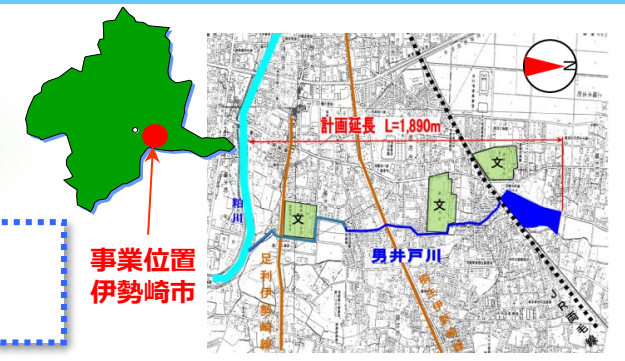
どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

地元の声

- 川の流れがところどころで直角に曲がっていてそこで水が流れにくくなり溢れている。(地元区長)
- 川から溢れた水が住宅のそばまでみるみる迫って来て、庭先や道路が川になります。(地元住民)
- 早く浸水が起こらないようにしてほしい。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 伊勢崎市日乃出町～豊城町
- 事業内容: 河道改修 延長 1,890m
: 調節池 容量51,000m³
- 事業期間: 平成12年度～

- 現況流下能力: 約2m³/s
- 計画流量 : 7.5～20m³/s

事業前

大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、水害リスクが高い状況です。

浸水状況 (H20.7)

せまい河道

事業前の状況

事業後

大雨の時、調節池に水を貯めることで下流へ流れ込む水の量を減らします。

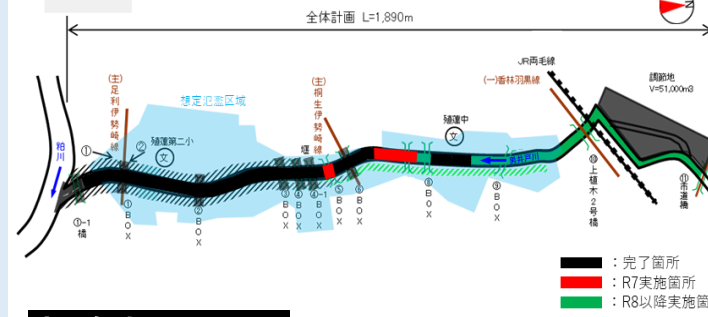
調節池整備

川幅等を拡げることで、大雨の時に川に流せる水の量を増やし、水害リスクを軽減します。

河道の拡幅

事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか
令和7年度は、引き続き河道整備工事を実施します。

現在の河道

道路の下(地中)に新しい河道を整備します

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	19.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	215戸
想定氾濫区域内の浸水教育施設数	2校

実施後(目標)
0ha
0戸
0校